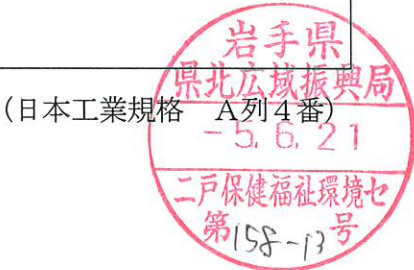


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 21 日	
岩手県知事 殿	
提出者	
住 所 岩手県二戸市金田一字八ツ長88-5	
氏 名 株式会社アルバライフ	
代表取締役 佐藤 一順	
電話番号 0195-27-3330	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社アルバライフ
事業場の所在地	岩手県二戸市金田一字八ツ長88-5
計画期間	令和 <sup>5</sup> 年4月1日～令和 <sup>6</sup> 年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	前年度の完成工事高 26.3億円
③ 従業員数	54人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役副社長

産業廃棄物管理責任者

常務取締役統括部長

廃棄物管理の責任者  
廃棄物処理計画書の作成責任者

土木事業部

第一建築事業部

第二建築事業部

管理部

処理計画作成

作業所

作業所

作業所

作業所長

作業所における廃棄物管理の責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（ 令和4年度）実績】 別紙参照

産業廃棄物の種類

排 出 量

1561.020 t

t

(これまでに実施した取組)

② 計画

【目標】 別紙参照

産業廃棄物の種類

排 出 量

1404.918 t

t

(今後実施する予定の取組)

前年と同規模の内容の工事を受注すると仮定し、前年排出量2415.3 tの10%削減の2173.8 tを目標とする。

1. 工法の改善により汚泥、がれきを削減する。
2. 実寸発注の実施により木くずを削減する。
3. 余剰材の引き取りにより残材量をへらし排出量を削減する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

工事現場から発生する廃材（アスファルト塊、コンクリート塊、汚泥、木くず、廃プラ、金属くず、ガラス・陶磁器、がれき、廃石膏ボード、等）を分別して集め、収集運搬業者に搬出してもらっている。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

混合の廃棄物があれば極力それらもきちんと分別する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】      添付資料参照		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	1561.020 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	258.410 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1157.620 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 添付資料参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1404.918t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1006.000 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1041.858 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への委託8割以上を目指す 再生利用を行なっている業者への委託80%以上を目指す アスコンがら、コンクリートがらは100%を目指す 再資源化施設への搬入の検討		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

岩手県

産業廃棄物まとめ(R4.4.1～R5.3.31)

排出量 t

産業廃棄物の種類	本社	第一建築	第二建築	土木	計	備考
アスファルトがら					0.000	
アスコンがら			0.970	155.650	156.620	
コンクリート無筋		0.050	0.150	81.330	81.530	
コンクリート有筋		559.500	5.150	354.820	919.470	
建設汚泥		0.730		3.970	4.700	
木くず	0.050	52.240	3.290	101.510	157.090	
廃プラ	0.170	12.240	6.060	10.300	28.770	
金属くず			0.290		0.290	
ガラス・陶磁器		5.350	1.070		6.420	
がれき		4.570	165.340		169.910	
廃石膏ボード		14.820	18.680		33.500	
紙くず	0.100	1.370	1.000	0.050	2.520	
繊維くず		0.200			0.200	
鉄くず					0.000	
石綿含有廃棄物					0.000	
水銀使用性廃棄物					0.000	
混合廃棄物(管理型含む)					0.000	
混合廃棄物(安定型含む)					0.000	
廃油					0.000	
廃アルカリ					0.000	
廃酸					0.000	
廃酸(廃棄薬品)					0.000	
廃酸(廃棄薬品)					0.000	
廃アルカリ(廃棄薬品)					0.000	
	0.320	651.070	202.000	707.630	1,561.020	

岩手県

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

排出量 t

産業廃棄物の種類	本社	第一建築	第二建築	土木	前年度実績 R4年度	R5年度 目 標
アスファルトがら					0.000	0.000
アスコンがら			0.970	155.650	156.620	140.958
コンクリート無筋		0.050	0.150	81.330	81.530	73.377
コンクリート有筋		559.500	5.150	354.820	919.470	827.523
建設汚泥		0.730		3.970	4.700	4.230
木くず	0.050	52.240	3.290	101.510	157.090	141.381
廃プラ	0.170	12.240	6.060	10.300	28.770	25.893
金属くず			0.290		0.290	0.261
ガラス・陶磁器		5.350	1.070		6.420	5.778
がれき		4.570	165.340		169.910	152.919
廃石膏ボード		14.820	18.680		33.500	30.150
紙くず	0.100	1.370	1.000	0.050	2.520	2.268
繊維くず		0.200			0.200	0.180
鉄くず						
石綿含有廃棄物						
水銀使用性廃棄物						
混合廃棄物(管理型含む)						
混合廃棄物(安定型含む)						
廃油						
廃アルカリ						
廃酸						
廃酸(廃棄薬品)						
廃酸(廃棄薬品)						
廃アルカリ(廃棄薬品)						
	0.320	651.070	202.000	707.630	1,561.020	1,404.918



岩手県

産業廃棄物の処理の依頼に関する事項

排出量 t

産業廃棄物の種類	前年度4年度 全処理委託量	前年度5年度 処理委託目標	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	熱回収認定業者への 処理委託量	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量
アスファルトがら	0.000	0.000	0.000	0.000		
アスコンがら	156.620	140.958	101.000	140.958		
コンクリート無筋	81.530	73.377	52.000	73.377		
コンクリート有筋	919.470	827.523	595.000	827.523		
建設汚泥	4.700	4.230	3.000			
木くず	157.090	141.381	101.000			
廃プラ	28.770	25.893	18.000			
金属くず	0.290	0.261	0.000			
ガラス・陶磁器	6.420	5.778	4.000			
がれき	169.910	152.919	110.000			
廃石膏ボード	33.500	30.150	21.000			
紙くず	2.520	2.268	1.000			
繊維くず	0.200	0.000	0.000			
鉄くず	0.000	0.000	0.000			
石綿含有廃棄物	0.000	0.000	0.000			
水銀使用性廃棄物	0.000	0.000	0.000			
混合廃棄物(管理型含む)	0.000	0.000	0.000			
混合廃棄物(安定型含む)	0.000	0.000	0.000			
廃油	0.000	0.000	0.000			
廃アルカリ	0.000	0.000	0.000			
廃酸	0.000	0.000	0.000			
廃酸(廃棄薬品)	0.000	0.000	0.000			
廃酸(廃棄薬品)	0.000	0.000	0.000			
廃アルカリ(廃棄薬品)	0.000	0.000	0.000			
	1,561.020	1,404.738	1,006.000	1,041.858		